

陳情番号	陳情第6号
件名	帯状疱疹ワクチン接種の助成制度創設に関する陳情
受付年月日	令和6年5月15日
回付委員会	厚生委員会
(陳情要旨)	
帯状疱疹は、以前からワクチンによる予防が重要と言われており、近年、高齢者だけでなく比較的若年層での罹患も報道されている。	
この疾病は特に50代以上が罹患しやすく、加齢や疲労、ストレスから起こる免疫力の低下により、80歳までに約3人に1人が発症すると言われている。発症すると痛みが徐々に増していき、日常生活や就労が制限されたり夜も眠れなくなることもある。	
また、患者の20%が帯状疱疹後神経痛を併発し、長ければ数年以上疼痛に苦しむことになるほか、頭部や顔面に帯状疱疹が出た場合、視力低下や失明、顔面神経麻痺などの重い後遺症が残る可能性もある。	
帯状疱疹を防ぐにはワクチン接種が有効とされているが、現在、帯状疱疹のワクチンは任意接種である。接種から9年後の時点でも有効性があるとされる不活性ワクチンは計2回の接種で数万円と高額であり、接種を断念する人も少なくない。このように経済的な理由によりワクチン接種を諦め、その結果、病気に罹患する人がいることは、医療者として看過できない。	
行政に対して、ワクチン接種で病気を防ぎ、苦しむ市民を生じさせないような施策を要望し、下記について陳情する。	
記	
1　帯状疱疹ワクチンの接種費用を助成する制度を創設すること。	
(資料掲載略)	
結果	令和6年6月21日 内容を了知する。